

物理講演会/物理科学ゼミナールのお知らせ

日時・会場: 4月14日(金)14:40~16:30・理学部1・2号館1階C122

プログラム:

14:40~14:50 物理科学ゼミナールガイダンス

14:50~15:35 講演 1:

講師: 金 大貴 教授

大阪公立大学大学院工学研究科



題目: コロイダル量子ドットの光物性と今後の展開

概要: 従来のコロイダル量子ドットに関する研究のほとんどは、量子ドットが溶液やマトリックス中にランダムに分散した、「孤立」状態の光物性に関するものである。一方、量子ドットが規則的に配列した超格子構造においては、量子ドット間相互作用に基づく新たな光物性と光機能性の発現が期待できる。講演では、コロイダル量子ドットの作製と光物性について概観し、量子ドット超格子の作製と光物性に関する最近の成果を紹介する。

15:35~16:20 講演 2:

講師: 鐘本 勝一 教授

大阪公立大学大学院理学研究科・

南部陽一郎物理学研究所



題目: 磁気共鳴から探る純スピン流の物理

概要: スピンがもつ角運動量を空間的に伝搬させる“スピン流”の研究が、スピンのエレクトロニクス応用を目指すスピントロニクス分野を中心に近年著しく進展しています。本講演では、電流の流れを含まない純スピン流の定義を話した後に、その物性を磁気共鳴法で追跡した発表者自身の研究例を紹介し、その物性の特異性について理解していただきたいと思います。

16:20~16:30 小テスト実施、補足説明等

世話人: 原(先端科学)、小澄(産ナノ研)、赤井(産ナノ研)

iakai@kumamoto-u.ac.jp (内 3296)